

附属病院／集中治療部

1. 領域構成教職員・在職期間

部長（併）	重見 研司	平成18年4月-
助教	北村 倫子	平成27年11月-
助教	佐藤 倫祥	平成28年7月-
助教	小畑 友里江	平成26年4月-
特命助教	齋藤 律子	平成27年4月-
特命助教	佐上 祐介	平成26年4月-

2. 研究概要

研究概要

●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

急性期の重症患者に対する栄養管理が予後に大きな影響を与えることは周知の事実となってきた。疾患の多様性、年齢、併存疾患等の患者背景因子、さらに治療による影響などを考慮して栄養管理を行う必要がある。高血糖あるいは血糖値の変動が患者予後に大きく影響することが報告されている。各種栄養剤投与における、血糖値、血糖値の変動、インスリンの必要度、胃内残留時間、逆流や嘔吐、下痢などの副作用、ICUの滞在期間、経口摂取が可能となる期間等、多面的分析を行い、栄養成分の違いによる、有用性・安全性を検討していく予定である。

●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎は病院内で人工呼吸器を装着したことによって新たに罹患した肺炎であり、ICU入室患者の3から4%を占め、ICU内の院内感染で最も多く、致死率も50%前後と非常に高い疾患である。治療としては抗菌薬の投与となるが、その抗菌薬に対しては、静菌的でなく、殺菌性を有し、感受性が高く、耐性選択能の高いことが要求される。当院では、前述の特徴を有した新しい抗菌薬TR-701FAの試験を開始しており、その安全性および有効性を検証していく予定である。

●冬眠の低体温療法への応用をめざして

Hibernation protein complex (HP complex) に注目し、HP complex をラットの脳室内に投与することにより冬眠が実現できるか、その時のバイタルサインやその他の生体機能がどうなっているか、投与終了後は合併症なく覚醒するかどうかを調べる。この研究から、低体温療法に冬眠のメカニズムを取り入れ、より効果的で安全な低体温療法を開発することを目的とする。

キーワード

栄養管理、血糖コントロール、インスリン、人工呼吸器関連肺炎、TR-701FA、冬眠、低体温療法、HP complex、脳保護作用

特色等

●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者に対する各種栄養剤の選択に関して、疾患別あるいは併存合併症から、インスリン必要度、血糖値の推移の観点から調べたものではなく、重症患者の栄養に関して一石を投じる可能性がある。

本学の理念との関係

●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者と栄養について、その本質から考え直すきっかけにしたい。

●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎による死亡率はいまだに高く、その救命率を上昇させるきっかけにしたい。

●冬眠の低体温療法への応用をめざして

脳低体温療法で神経学的予後や生命予後が飛躍的に改善したり、心筋虚血やその他の臓器障害において、そのダメージを最小限にして救命率を上昇させたりということにも応用可能であるとする。高い倫理観のもと、医学発展に大きく貢献できると考えている。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2016～2016年分	2016年分	2016～2016年分	2016年分
和文原著論文	4	4	—	—
英文論文	ファーストオナー	3	3	9.222 (9.222)
	コレスポンディングオナー	1	1	0 (0)
	その他	2	2	3.162 (3.162)
	合計	6	6	12.384 (12.384)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1656001

Y.Obata, M. Mizogami, S. Singh, D. Nyhan, DE. Berkowitz, J. Steppan, V. Barodka: The effects of hemodynamic changes on pulse wave velocity in cardiothoracic surgical patients, Biomed Res Int, 20160901, DOI: 10.1155/2016/9640457, #2. 134

1656002

Y.Obata, M. Mizogami, D. Nyhan, DE. Berkowitz, J. Steppan, V. Barodka: Pilot study: Estimation stroke volume and cardiac output from pulse wave velocity, Plos One, 20170106, DOI: 10.1371/journal.pone.0169853, #3. 057

1656003

Y.Obata, QJ. Ong, JT. Magruder, H. Grichkewitch, DE. Berkowitz, D. Nyhan, J. Steppan, V. Barodka: Noninvasive assessment of the effect of position and exercise on pulse arrival to peripheral vascular beds in healthy volunteers, Front Physiol, 20170206, DOI: 10.3389/fphys.2017.00047, #4. 031

1656004

K. Mita, K. Tsugita, Y. Yasuda, Y. Matsuki, Y. Obata, Y. Matsuki, S. Kamisawa, K. Shigemitsu: A successfully treated case of cardiac arrest after Cesarean section complicated by pheochromocytoma crisis and amniotic fluid embolism, J Anesth, 31(1), 140-143, 201702 (症例報告), #1. 343

1656005

T. Sawa, M. Kinoshita, A. Kanuma, K. Akiyama, Y. Naito, H. Kato, F. Amaya, K. Shigemitsu: Effective evaluation of arterial pulse waveform analysis by two-dimensional stroke volume variation-stroke volume index plots, J Clin Monit Comput, 20160804, DOI: 10.1007/s10877-016-9916-7, #1. 819

1656006

Y. Matsuki, Y. Matsuki, K. Shigemitsu: Successful treatment of septic shock with disseminated intravascular coagulation using combined polymyxin-B direct hemoperfusion and recombinant thrombomodulin therapy, Anaesth Pain & Intensive Care, 20(4), 462-464, 201610 (症例報告)

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

1656007

伊佐田 哲朗, 重見 研司: モニタリングQ16. APC0はどのような原理で心拍出量を測定しているの? 福田 英一: 麻酔科クリニカルクエスト, 診断と治療社, 35-37, 20160530

1656008

伊佐田 哲朗, 重見 研司: モニタリングQ17. 肺動脈カテーテルの適応は何か? 最近なぜその使用が減ってきたのか? 福田 英一: 麻酔科クリニカルクエスト, 診断と治療社, 38-39, 20160530

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1656009

市川 大以, 吉村 仁志, 吉田 寿人, 安井 梨恵, 相木 美那子, 小林 淳一, 松田 慎平, 高倉 康, 重見 研司, 佐野 和生: 全身麻酔下での智歯抜歯時に使用した塩酸プロトコリンにより発症したメトヘモグロビン血症の1例, 日本口腔診断学会雑誌, 29(2), 104-108, 20160620, DOI: 日本口腔診断学会雑誌

1656010

鈴木 裕紀子, 松木 悠佳, 安田 善一, 高倉 康, 重見 研司: 2度目の麻酔管理で明らかになったアナフィラキシーショックの1例, 日本臨床麻酔学雑誌, 37(2), 186-188, 20170315

b. 原著論文（審査無）

1656011

早瀬 光代, 小畑 友里江, 高久 明子, DK.Kayembe, 伊佐田 哲朗, 早瀬 由朗, 浜田 敏彦, 松岡 達, 重見 研司: 左心室大動脈結合状態 (Ees/Ea) と一回拍出量 (SV) から左心室拡張末期容量 (Ved) を算定する方法 (パイロット・スタディ), 麻酔・集中治療とテクノロジー-2015, 65-69, 20160531

1656012

高久 明子, 小畑 友里江, 浜田 敏彦, 三上 俊介, 神澤 聖一, 佐上 祐介, 安田 善一, 高倉 康, 重見 研司: 平均血圧, 拡張期血圧, 等容量収縮時間, 駆出時間から算出した左心室大動脈結合状態の有用性と問題点ならびに臨床応用例, 麻酔・集中治療とテクノロジー-2014, 63-71, 20160531

c. 総説

1656013

重見 研司: 麻酔診療に深く関わる生理学-血管と循環調節, 麻酔, 65(5), 470-478, 20160510

d. その他研究等実績（報告書を含む）

1656014

重見 研司: “ベッパ-麻酔” を考える, 麻酔, 65(9), 891-891, 20160910

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

1656015

下 弘一, 藤岡 沙織, 西尾 太郎, 鈴木 裕紀子, 早瀬 光代, 神澤 聖一, 佐上 祐介, 北村 倫子, 藤林 哲男, 重見 研司: 麻酔科医の立場から温熱化学療法との併用患者管理を考える, 日本ハイパーサーミア学会第33回大会, つくば国際会議場（つくば市）, 20160903

c. 一般講演（口演）

1656016

松木 悠佳, 溝上 真樹, 石本 雅幸, 松田 修子, 藤岡 沙織, 佐上 祐介, 神澤 聖一, 重見 研司: 不对神経ブロック後にオピオイド減量に成功した術後排尿時痛の一症例, 日本ペインクリニック学会第50回大会, パシフィコ横浜（横浜市）, 20160708

d. 一般講演（ポスター）

1656017

松木 悠佳, 長田 理, 畔柳 綾, 神澤 聖一, 関 久美子, 重見 研司: 全静脈麻酔中のオピオイド濃度とプロポフォール濃度の相互作用に及ぼす年齢の影響, 日本麻酔科学会第63回学術集会, マリンメッセ（福岡市）, 20160526

1656018

藤岡 沙織, 上田 雅史, 次田 佳代, 北村 倫子, 田畑 麻里, 重見 研司: ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘出術 (RALP) における声帯浮腫の危険因子の解析（優秀演題）, 日本麻酔科学会第63回学術集会, 福岡国際会議場（福岡市）, 20160527

1656019

神澤 聖一, 溝上 真樹, 松木 悠佳, 早瀬 光代, 重見 研司: 神経障害患者におけるブレガリンとデュロキセチンの併用投与について: 併用開始のタイミングと有効性の検証, 日本麻酔科学会第63回学術集会, マリンメッセ（福岡市）, 20160527

1656020

溝上 真樹, 松木 悠佳, 重見 研司, 土屋 博紀: デクスメトミジンの機序的膜作用 (II): 脂質組成に依存して立体異性体間で識別できる膜相互作用, 日本麻酔科学会第63回学術集会, マリンメッセ（福岡市）, 20160527

1656021

鈴木 裕紀子, 松木 悠佳, 西尾 太郎, 神澤 聖一, 次田 佳代, 重見 研司: 全身麻酔中の人工呼吸による胸部コンプライアンスのトレンド表示の有用性, 日本臨床麻酔学会第36回大会, ザクラウンパレス新阪急高知（高知市）, 20161103

1656022

奥野 純子, 田畑 麻里, 西尾 太郎, 鈴木 裕紀子, 神澤 聖一, 佐藤 倫祥, 早瀬 光代, 重見 研司: 左肺葉切除後にDLTの位置異常が疑われた1例, 日本臨床麻酔学会第36回大会, ザクラウンパレス新阪急高知（高知市）, 20161103

1656023

藤岡 沙織, 松木 悠佳, 鈴木 裕紀子, 西尾 太郎, 関 久美子, 早瀬 光代, 重見 研司: 動脈圧波形による脈圧変動のトレンド表示の有用性, 日本臨床麻酔学会第36回大会, 高知市文化プラザかるぼーと（高知市）, 20161104

1656024

西尾 太郎, 関 久美子, 藤岡 沙織, 佐藤 倫祥, 鈴木 裕紀子, 佐上 祐介, 神澤 聖一, 重見 研司: 上下顎骨切除術の気管挿管後に咽頭肉芽腫を発生した1症例, 日本臨床麻酔学会第36回大会, 高知市文化プラザかるぼーと（高知市）, 20161104

1656025

佐上 祐介, 下 弘一, 次田 佳代, 早瀬 光代, 西尾 太郎, 鈴木 裕紀子, 神澤 聖一, 重見 研司: セボフルラン麻酔時の高体温による腹部内蔵血流量の変化, 日本臨床麻酔学会第36回大会, 高知市文化プラザかるぼーと（高知市）, 20161103

1656026

北村 倫子, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 西尾 太郎, 佐上 祐介, 松木 悠佳, 田畑 麻里, 伊佐田 哲朗, 重見 研司: 腎代替療法施行時における循環動態変化の検討, 第44回日本集中治療医学会学術集会, ロイトン札幌（札幌市）, 20170310

1656027

藤林 哲男, 佐上 祐介, 齊藤 律子, 北村 倫子, 佐藤 倫祥, 神澤 聖一, 松木 悠佳, 関 久美子, 重見 研司, 安田 善一: 当施設における血液浄化療法中にリコンビナントロンボモジュリンを私用した症例の検討, 第44回日本集中治療医学会学術集会, ロイトン札幌（札幌市）, 20170310

1656028

佐藤 倫祥, 松木 悠佳, 藤林 哲男, 佐上 祐介, 下 弘一, 齊藤 律子, 北村 倫子, 次田 佳代, 鈴木 裕紀子, 重見 研司: 当院においてICU管理を行った小児気道異物症例の検討, 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌市教育文化会館（札幌市）, 20170310

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

1656029

重見 研司: 多職種連携のための生体情報モニタの活用方法-情報のデジタル化の薦め-, 第24回日本集中治療医学会東海北陸地方会総会・学術集会, ウィンクあいち（名古屋）, 20160625

業績一覧

c. 一般講演 (口演)

1656030

齊藤 律子, 佐上 祐介, 松木 悠佳, 関 久美子, 北村 倫子, 田畑 麻里, 伊佐田 哲朗, 藤林 哲男, 重見 研司: 肝外傷後原因薬剤不明の偽性アルドステロン症が疑われた一症例, 第24回日本集中治療医学会東海北陸地方会総会・学術集会, ウィンクあいち (名古屋市), 20160625

1656031

神澤 聖一, 竹内 健二, 小原 洋昭, 松木 悠佳, 溝上 真樹, 重見 研司: 腰椎椎体圧潰に伴う腰痛に対し 3D needle guidance system を用いた後枝内側高周波凝固が成功した一症例, 東海・北陸ペインクリニック学会第24回北陸地方会, 金沢大学附属病院 (金沢市), 20170305

d. 一般講演 (ポスター)

1656032

北村 倫子, 藤林 哲男, 佐上 祐介, 伊佐田 哲朗, 齊藤 律子, 重見 研司: 超音波ガイド下血管穿刺および神経ブロックにおいてヘッドマウントディスプレイは有用である, 第24回日本集中治療医学会東海北陸地方会総会・学術集会, ウィンクあいち (名古屋市), 20160625

1656033

西尾 太郎, 高倉 康, 鈴木 裕紀子, 藤岡 沙織, 松木 悠佳, 重見 研司: QT延長症候群患者で発症したプリロカイン誘発性メトヘモグロビン血症の一例, 日本麻酔科学会東海・北陸支部第14回学術集会, 三重県総合文化センター (津市), 20160910

1656034

鈴木 裕紀子, 松木 悠佳, 西尾 太郎, 下 弘一, 溝上 真樹, 重見 研司: ロクロニウムによるアナフィラキシーショックの一例, 日本麻酔科学会東海・北陸支部第14回学術集会, 三重県総合文化センター (津市), 20160910

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

1656035

松木 悠佳, 重見 研司: ロクロニウムによるアナフィラキシーショックの一例, 第6回北陸麻酔・集中治療研究会, ホテル金沢 (金沢市), 20160716

1656036

松木 悠佳, 佐上 祐介, 北村 倫子, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 重見 研司: Ⅲ度熱中症によるDICに対するトロンボモジュリンアルファの使用経験, 第5回集中治療ミーティング福井, 福井商工会議所 (福井市), 20161111

1656037

佐藤 倫祥, 佐上 祐介, 松木 悠佳, 北村 倫子, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 重見 研司: 術中肺塞栓症の一救命例, 第20回北陸急性血浄化療法談話会, 金沢ニューグランドホテル (金沢市), 20161112

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

1656038

齊藤 律子: 安全な酸素療法を行うために, 研修医向けコアレクチャー, 白鷺会ホール (吉田郡), 20160603

1656039

佐上 祐介: 平成28年度麻酔科専門試験を振り返る, Changing Practice of Anesthesia 2017 in Wakayama, 和歌山県立大学 (和歌山市), 20170325

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者
----	------------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)

(B) 要学寄附金

受入件数	1
受入金額	200000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長 (主査)・委員	氏名
----------	-------------	----

(E) その他